



「瑞星」第11号の実践事例集紹介②

瑞星第11号編集委員会だより

テーマ「チームとしての学校」の力を高める養護教諭の役割

～子供たちが生涯にわたって

健康な生活を送るための力の育成と課題解決の進め方～

瑞星に掲載される実践事例の概要の一部を「編集委員会だより2号」に続いてご紹介します。

保健管理：中学校

テーマ 「養護教諭の行う保健管理とは」 —生活制限のある子どもへの対応から—



慢性疾患を持つ子供が「学校生活管理指導票」に基づき、適切な管理の下で学校生活を送ることは、とても重要なことです。

養護教諭は、主治医の指示をもとに授業や活動の調整を組織的に進める要を担っています。とかく、「念のため」と心配し、過大に制限しがちですが、適切な生活制限や配慮をすすめる取組とともに、卒業後の自己管理を目指した保健管理の実践が紹介されています。

危機管理：小学校

テーマ 「けがのない安全な学校生活を送るための取組 — けがの発生が多いという課題を踏まえ、 けがを積極的に防ぐための4年間の取組—

校内で起こるけがの対応を通して、けが防止を組織的に取組んだ実践です。

*けがの適切な対応を目指す「けがの対応マニュアル」や「チェックシート」の活用

*「チェックシート」を継続的に活用し、教職員へ子供の意識を高める啓発活動等これらの継続した取組によりけがでの来室者が減少した様子が紹介されています。



健康相談：小学校

テーマ 「児童の心の健康問題への対応の 充実をめざして—校内連携の取組—

保健室に来室する子供の心因的な訴えに注目し、子供の心の健康づくりを、校内組織や関係者との連携で取組んだ実践です。

- * 学校医・学校薬剤師との連携で充実した学校保健委員会
- * 学校保健委員会の事後にすすめた保護者への広報活動
- * スクールカウンセラーと連携した教職員の校内研修



様々な実践の中で養護教諭の専門性が発揮されています。

保健教育：特別支援学校

テーマ 「自立した子どもの育成をめざす保健教育 —子どもの健康課題を共有・共感し合える教職員との連携—



幼稚部から高等部のある「ろう学校」で実践している発達段階に合わせた細やかな保健教育の実践が紹介されています。

「暑くても自分から水を飲まない」子供の課題解決に向けた学校保健委員会の取組や、系統的にすすめる「性に関する指導」では、子供の実態に合わせて工夫し、自立に向けた願いがこめられています。

研究協議会・研修会報告は必見!

研究誌「瑞星」には、2月開催の研究協議会と8月開催の研修会の記録も掲載されています。残念ながら参加できなかった皆さん! 研究協議会・研修会の概要をぜひ、ご覧ください。